

コート・ダジュールを 訪れる10の理由

#CotedAzurFrance



ごあいさつ

親愛なる日本のみなさま、

「コート・ダジュール・フランス #CotedAzurFrance」代表団よりごあいさつ申し上げます。このたびは、フランス、そしてヨーロッパにおける代表的なデスティネーションのひとつである**コート・ダジュール地方**の魅力を日本のみなさまにご紹介できることを心より嬉しく存じます。**アルプ・マリタイム県 Alpes-Maritime** に位置するコート・ダジュールは、海原と山並みに抱かれた、フランス南東部の宝石と呼ぶに相応しく豊かで風光明媚であり、あるときはエレガントに、またあるときはチャーミングに、穏やかにやさしく地中海のライフスタイルを体現する地域です。

コート・ダジュールの観光市場は、現在、インバウンド、とりわけ東南アジアからの旅行者の**需要の目覚ましい回復期**が見られます。域内では、継続的にインフラの改善や航空路線の強化に取り組まれており、あらゆるニーズに応える宿泊施設やアクティビティが充実しており、**地域の文化や美食の発見、唯一無二の体験**を求めて日本からおいでになる皆さまをお迎えするにふさわしい魅力を備えております。

また、**ヨーロッパへの玄関口**として日本からアクセスが容易な**ニース・コート・ダジュール国際空港 Aéroport Nice Côte d'Azur**を有しております。

陽光がふりそそぐ美しい大自然の彩り、アール・ド・ヴィーヴル（生活芸術）、歴史がみごとなハーモニーを奏でるコート・ダジュールの魅力は、休暇のデスティネーションというシンプルな言葉のみでは説明し尽くすことはできません。断崖が織りなす壮観の海岸線。一年中さまざまなフェスティバル、文化イベント、スポーツイベントが目白押しの**ニース Nice** や**カンヌ Cannes**、**モナコ Monaco** や**アンティープ・ジュアン＝レ＝パン Antibes Juan-les-Pins**。お馴染みのこれら街々では格別の美食もご賞味いただけます。

どうぞコート・ダジュールで、この地域ならではの**気品に満ちた豊さと比類のない体験**をお楽しみください。世界に名だたる最高級のホテルやスパ、ラグジュアリーなブティックなど、他では味わうことのできない優雅なひとときをお過ごしください。

コート・ダジュールはまた、その陽光に魅せられた数多くの芸術家や著名人の創作の場となってきたことでも知られます。そのひとつ、マティス、シャガール、ピカソが愛した**ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアン Vallauris Golfe-Juan** は、先ごろ**備前市**と姉妹都市協定を結びました。両市には陶芸の伝統という共通点があります。

ワイナリーや瀟洒な庭園を巡るプライベートツアー、地中海を駆けるヨットクルーズ、ショッピング同行など、コート・ダジュールで**オーダーメイドの旅のアクティビティ**をお楽しみいただくこともできます。**サン・ポール・ド・ヴァンス Saint-Paul de Vence** や**エズ Èze** など、高台の中腹や頂上に築かれた**美しい村々**では、小路の一つひとつに佇まいと伝統の香りを感じていただけることでしょう。

さらに高地に足を伸ばせば、**メルカントールの溪谷群 vallées du Mercantour** があります。ここには、手つかずの自然があやなす景色が広がり、人間の前に姿を現すことは稀な野生のオオカミが暮らしており、空と大地のはざまを散策することができるいくつかのハイキング道が設けられています。冬ともなると、これぞまさに雪の王国といった風情の**オーロン Auron** や**ヴァルベルグ Valberg** のリゾートで、幻想的な風景のなかスキーを存分にお楽しみいただけます。

五感が喜ぶ美食も事欠きません。**グラス Grasse** のマルシェ（市場）では黒トリュフの香りに酔いしれ、夕暮れときには海を眺めながらロゼワインのグラスを傾け、百年以上の歴史を持つ製油所を訪ねて AOP（欧州レベルでの原産地呼称保護）認定の上質なオリーブオイルを味わいましょう。ミシュランの星を獲得したシェフが豊かな想像力と地元の食材をマリージュさせ、地中海料理に新たな風を吹き込むディナーは、その一皿一皿が芸術作品と呼ぶべき逸品です。

わたくしどもがみなさまにご案内するのは、降り注ぐ太陽が芸術家にインスピレーションを与え、眺望が魂に栄養を与え、一瞬一瞬が語られるべき物語となる場所です。

コート・ダジュールへのお越しをお待ちしております。



ALEXANDRA BORCHIO FONTIMP

アレクサンドラ・ボルキオ＝フォンタン

コート・ダジュール・フランス観光局 会長

上院議員（アルプ・マリティーム県選出）

アルプ・マリティーム県議会議員

（アンティープ・ジュアン＝レ＝バン選出）



CHARLES ANGE GINESY

シャルル＝アンジュ・ジネシー

アルプ・マリティーム県議会 議長



目次

いざコート・ダジュールへ	6
通をうならせる美食の地	7
ショッピングの聖地	8
芸術家のインスピレーションの地	10
イベントとフェスティバルの聖地	11
ハイエンドな宿泊施設	12
コート・ダジュールで一年じゅう山を楽しむ	13
庭園に出かけよう	14
旅のお得なパス	15
3 日間で巡るコート・ダジュール	16
話題沸騰!『オフライン ラブ』で旅するコート・ダジュール ..	17
コート・ダジュール・フランス観光局	18
アルプ・マリティーム県	19
アンティープ・ジュアン＝レ＝パン観光会議局	20
カンヌ観光局	21
ニース・コート・ダジュール観光会議局	22
ヴァロリス・ガルブ＝ジュアン観光局	23

「コート・ダジュール・フランス CÔTE d' AZUR FRANCE」は、アルプ・マリタイム県を中心とするコート・ダジュール地方を指すデスティネーションブランドの名称です。域内には毎年1,150万人の観光客が来訪し、約120億ユーロの利益を生み出しています。

サントロペ Saint-Tropez からマントン Menton まで、美しい港湾と緑の丘にふちどられた鋸歯状の海岸線沿いに広がるコート・ダジュール地方。オープンエアーのアクティビティやフェスティバルを存分に楽しむ長期休暇に理想的なこのリゾート地には、まるで夢のように美しいビーチや5つ星ホテルがあり、名高いフェスティバルが催され、密やかな入り江や鷹の巣村、優れた芸術家たちが愛した場所がひしめいています。

ニース、カンヌ、アンティーブ・ジュアン＝レ＝パンといった南仏を代表する街々が近接しているのもその魅力のひとつです。緑豊かな渓谷や高原は旅人を散策へと誘わない、赤い屋根が並ぶ高台の村々は冬には黄色いミモザの花に彩られ、フランス流の「生きる喜び」を味わうことができます。コート・ダジュール #CotedAzurFrance へぜひおいでください。



© Côte d'Azur France Tourisme/C MOIRENC



© Aéroport Nice Côte d'Azur

数字で見るコート・ダジュールの旅

日本の国際観光旅支出は世界第29位であり、2024年は2023年に比べて25%増加しています。コート・ダジュールにお越しになる日本からの観光客は国別ランキング32位。4万人以上が平均で5泊されています。このうち：

- ◆ホテルや自炊式のレジデンスの滞在者数は約2万人。
- ◆ニース・コート・ダジュール空港を経由して到着する来訪者は約2万人。
- ◆一日の一人当たりの平均的な支出は130ドル、一度の旅で平均800ドルの現地支出。
- ◆「5月から10月」をハイシーズンとし6割がこの時期に滞在する。
- ◆日本人が所有する別荘は30軒以上。

出典：コート・ダジュール・フランス観光局

アクセス良好な空路

ニース・コート・ダジュール国際空港は、パリに次いでフランスで2番目に利用者の多い空港であり、いずれも名高いコート・ダジュール地方、プロヴァンス地方、モナコ公国への海外からの空の玄関口となっています。コート・ダジュール地方の中心都市ニースの市街地からわずか5kmのところの位置し、トラムの移動で片道30分。また、モナコまでは定期運行のヘリコプターでわずか7分で移動可能です。

年間1500万人の旅客を迎えるニース・コート・ダジュール国際空港には、45か国、124以上の直行便が就航しています。日本・韓国への乗り継ぎは、中東の3つのゲートウェイ空港（ドバイ、ドーハ、イスタンブール）への直行便が毎日運航されており、ヨーロッパの15のハブ空港（パリ、アムステルダム、フランクフルト、ミュンヘン…他）と結ばれています。

アルプ・マリティーム県とモナコにはミシュランの星付きレストランが34軒もあり、ハイエンドな美食の地としての地位を確立しています。グルメイベント、世界的に有名なシェフ、地元の食材、伝統的なレシピなど、コート・ダジュール地方の料理は芸術の域にまで高められています。

「キュイジーヌ・ニッサルド」万歳！

「キュイジーヌ・ニッサルド」のラベルは、ニースの文化とライフスタイルを反映した正統なニース料理を味わえる店の証。ソッカ（ひよこ豆のパンケーキ）、プティ・ファルシ（野菜の肉詰め）、ピサラディエール（タマネギのピザ風タルト）、ズッキーニの花を使った料理やニース風サラダ（アンチョビ、オリーブ、ツナなどの具沢山サラダ）など、地元の食材を使い伝統的なレシピで調理されたコート・ダジュールの名物料理をご賞味ください。



© Côte d'Azur France Tourisme / Jérôme KELAGOPIAN

コート・ダジュールのワイン

フランスの大都市で、唯一、ワインのAOC（原産地呼称）を有しているニース。そのニース市内で唯一のワイナリーで造られているのがAOCワイン「ベレ Bellet」です。

カンヌ沖、サントノラ島 Île Saint-Honora でもワインが造られています。レラン修道院 Abbaye de Lérins の修道士たちは、伝統的な手法を用いて8.5ヘクタールの小さなブドウ園を耕作。ワイン造りは、仕事への愛、友愛、卓説性の追求という、修道士の価値観を際立たせるものなのです。



ルーフトップに行こう

アペリティフを楽しみたいなら、地元の人びとに倣って、パノラマビューが楽しめる隠れ家のようなお洒落なテラスでくつろぎの時間を過ごすのがおすすめです。高級ホテルの屋上にはたいいそのようなテラスがあるもの。晴れた日にはオープンしています。

エスコフィエ料理博物館

現代フランス料理の父、オーギュスト・エスコフィエ。もっとも偉大なシェフのひとりとされるエスコフィエは、料理を芸術の域に高めたパイオニアとして、当時もっとも有名な高級ホテルの厨房を指揮し、多くのシェフを育てました。フランスのガストロノミーの旗手として世界を股にかけて活躍したのち、1935年にモナコで逝去。ヴィルヌーヴ・ルベ Villeneuve-Loubet にある生家は、エスコフィエ料理美術館 Musée Escoffier de l'Art Culinaire となりました。

詳細はこちら

<https://cotedazurfrance.fr/a-faire/gastronomie-et-vins>

伝統の朝市

コート・ダジュールの朝は、日の出とともに街のあちこちにマルシェが立ちます。その賑わい、色彩、香りなど、風情あるさまざまな屋台に漂うすべてが南フランスを物語っています。コート・ダジュールで人びとに育まれてきた伝統の象徴、朝市にぜひ出かけください。

すてきな朝市トップ5

- ◆ニースのサレヤ広場 Cours Saleya のマルシェ：月曜日を除く毎朝
- ◆アンティープの「マルシェ・プロヴァンサル Marché provençal」：月曜日を除く毎朝
- ◆カンヌの「マルシェ・フォルヴィル Marché Forville」：月曜を除く毎朝
- ◆マントンの「レアール Les Halles」のマルシェ：毎朝。
- ◆グラスのオノレ・クレス広場 Cours Honoré Cresp のマルシェ：水曜日の朝

理由 03 >> ショッピングの聖地



© MDenance

大勢の観光客が訪れ活気に満ち溢れるコート・ダジュールは。ここはまた、ファッションやトレンドへの好奇心を刺激する場所でもあります。ショッピングの聖地にふさわしい条件のすべてを備えたコート・ダジュール。ファッションista必見のショッピング・スポットをご紹介します！

「カレ・ドール」

コート・ダジュールで見逃せない3つのショッピングスポットといえば、カンヌ、ニース、モナコの「カレ・ドール Carré d'Or」。オープンエアにシックなブティックが集まる中心街です。カンヌでは、クロワゼット通り Rue Croisette とアンティープ通り Rue d' Antibes という平行した2つの長い通り沿いのこと。モナコでは、カジノ広場で Place du Casino を舞台に、服飾、時計や宝飾品の有名ブランドがしのぎを削っています。ニースでは、アルフォンス・カール通り Rue Alphonse Karr、パラディ通り Rue Paradis、ヴェルダン通り Avenue de Verdun がファッションistaに人気のスポットです。

新着情報：ニースのカレ・ドール地区に位置するホテル「ル・ヴィクトリア Le Victoria」の下階に、このほど 5,500 m² のラグジュアリーなショッピングスペースがオープン。この象徴的なロケーションにふさわしい特別なお買い物をお楽しみください。

ショッピング三昧

コート・ダジュールの住人はもちろん観光客にも大人気のおすすめ商業施設をご紹介します。

◆ 海を眺めながらショッピングが楽しめるサン・ローラン・デュ・ヴァール **Saint-Laurent-du-Var** の「キャップ 3000 Cap3000」。300 のブティックが営業するキャップ 3000 は、「MIPIM アワード 2022」で世界最高のショッピングセンターに選ばれました。

◆ 2018 年にカーニュ・シュル・メール Cagnes-sur-Mer、にオープンした「ショッピング・プロムナード・リヴィエラ Shopping Promenade Riviera は、オープンエアのアート&ショッピングセンター。広場や通り、日当たりの良いテラス席など、まるでひとつの村に立ち寄ったようにリラックスできる場所がたくさんあります。

◆ コート・ダジュールの中心、ニースという理想的なロケーションにある「ニセトワール Nicetoile」は必見。

コート・ダジュールの職人、クリエイターに会いたい

デザイナーズブティックや職人の工房を訪ねるなら、どうぞ協道へ。アンティープやニースの旧市街、サン・ポール・ド・ヴァンス Saint-Paul-de-Vence の絵のように美しい路地、あるいはジュアン・レ・パンを散策、

はたまたカンヌやエズの街の小道に迷い込んでみるのをおすすめします。旅のお土産に、コート・ダジュール地方で育まれた伝統の技が光る陶器やガラス製品、香水などはいかがでしょう。



© Côte d'Azur France Tourisme / Olivier PUYDEBOIS

世界的なフレグランスの都、格拉斯

グラースの街に高貴な風格を与えてきた花々。香水の女王とも呼ばれるジャスミン、バラ、チューベローズという3つの花は、かつて、街のそこかしこの庭園や畑に咲き誇り、グラースを美しく芳しく彩っていました。コート・ダジュールで育まれた香りを組み合わせる伝統は現代に受け継がれ、農家や庭園にはいまでもこれらの花々が栽培されています。大手フレグランスメーカーはそれぞれ独自の香りを生み出すべく、原料をグラースから調達しており、この地で培われたノウハウと上質な花々を高く評価しています。グラースの歴史ある3つの香水工房、フラゴナール Fragonard、ガリマール Galimard、モリナール Molinard では、いずれもガイド付きツアーや香水作りのワークショップを行っています。

陶芸の郷、ヴァロリス

ヴァロリスといえば陶芸。そして、その名高きアンバサダーとなったのがかの巨匠ピカソです。1948年、ロジェ・カブロン、ジャン・デルヴァル、そしてシュザンヌ・ラミエといったヴァロリスで活躍する陶芸家たちの卓越した技に魅了されたピカソは、陶芸に身を捧げるためこの地に居を移しました。人気者のピカソの移住は多くの人びとの好奇心をかきたて、著名人が集い、ほかの芸術家たちも陶芸を学ぶためにこの地に拠点をかまえ、陶芸の復興に貢献します。現在ヴァロリスは「街と工芸 Ville et Métiers d'Art」ラベルを得て、伝統的な陶磁器製品や作品をつくる職人や芸術家が自らを表現し、その情熱と熟練の技術を継承する場となっています。

新着情報：ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアン Vallauris Golfe-Juan は、同じく陶芸の伝統で知られる備前市と姉妹都市協定を結んでいます。

新着情報：ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアン Vallauris Golfe-Juan は、同じく陶芸の伝統で知られる備前市と姉妹都市協定を結んでいます。

ビオットのガラス工芸

吹きガラスがビオット Biot の代名詞となったのは20世紀後半のこと。「街と工芸」ラベル得たコート・ダジュールの小村は、フランスにおける現代ガラスの中心地となりました。ガラスの繊細な技術を誇る数々の工房がこの地を拠点としています。ビオの吹きガラスの伝統の源泉であり、この街のトレードマークとなっている「ヴェルリー・ド・ビオット Verrerie de Biot」の工房見学は必見です。ガラス創作の世界を旅されてください。15世紀の建物に建つ「現代ガラス工房センター — ファミーユ・ピエリーニ Centre du Verre Contemporain – Famille Pierini」もぜひ訪れていただきたい場所。ガラス職人の巨匠アントワヌ・ピエリーニが、息を呑むようなガラス作品を制作しています。

詳細はこちら

<https://cotedazurfrance.fr/a-faire/artisanat-et-traditions>



© Côte d'Azur France Tourisme / Yann SAVALLÉ



©Musée des arts asiatiques / Adrien Bossard

長きに渡り芸術家たちにインスピレーションを与えてきた地、**コート・ダジュール**。その息を呑むような景観は、世代を超えアーティストを魅了してきました。**マティス、モネ、ルノワール**は、その美しさに浸るためにこの地を訪れ、コクトー、シャガール、ピカソは、この地を我が家としました。さあ、**コート・ダジュール**地方を巡り、**活気あふれる芸術にふれる旅へ出かけましょう**。ガイド付きツアーを利用するもよし、ご自身のペースでまわるのもよし。わたしたちが選りすぐった必見のコレクションの数々をご堪能ください！

コート・ダジュール美術巡りで絶対に訪ねるべき その他の美術館：

- ◆ サン・ポール・ド・ヴァンスのマーグ財団 Fondation Maeght
- ◆ アンティープ・ジュアン＝レ＝パンのアルトゥング - ベイルマン財団 Fondation Hartung-Bergman
- ◆ カップ・ダイユ Cap d'Ail のカップ・モデルヌ Cap Moderne (アイリーン・グレイのヴィラ E-1027 villa E-1027 とル・コルビュジエの休暇小屋 Cabanon を含む建築群)
- ◆ サン・ポール・ド・ヴァンスのムージャン写真センター Centre de la photographie de Mougins と CAB 財団 Fondation CAB

絶対に訪ねるべき美術館 8 選

- ◆ アンティープのピカソ美術館 Musée Picasso とニースのマティス美術館 Musée Matisse。
- ◆ ニースの国立マルク・シャガール美術館 Musée National Marc Chagall とピオのフェルナン・レジェ美術館 Musée National Fernand Léger。
- ◆ ニースの MAMAC- 近代現代美術館 (改修工事のため休館中) とカーニュ・シュル・メールのルノワール美術館 Musée Renoir。
- ◆ マントンのジャン・コクトー美術館 Musée Jean Cocteau とル・カネのボナール美術館 Musée Bonnard。



2025 年のいちおし美術館

◆ ラ・マルメゾン - カヌ

現代美術センター「ラ・マルメゾン La Malmaison」。クロワゼット通り沿いに建つカヌの象徴的な建造物は、大規模な改修と再建工事を経て 1 月 31 日に再オープンしました。この工事により、展示スペースは従来の 3 倍に拡大。

◆ マーグ財団 - サン・ポール・ド・ヴァンス

マルグリットとエメ・マーグ夫妻によって 1964 年に設立された現代美術の重要なランドマーク、マーグ財団。シャガール、レジェ、ジョアン・ミロ、ジャコモメッティなど、数多くのアーティストの作品を展示する野心と創造性に満ちた素晴らしい空間です。2024 年には、500 平方メートルの展示ルートを拡張するとともに 2 つの展示室が新設され、マーグ財団のアヴァンギャルドなムードを不滅のものにしています。

豆知識：

- 日本人建築家丹下健三氏が設計したニース東洋美術館 Musée des Arts Asiatiques de Nice。洗練されたミニマルな建築様式を通してアジア文化を紹介する同美術館では、日本(武士、茶道)と韓国(陶磁器、仏教美術)のコレクションに加え、展覧会や文化イベントも開催しています。

特筆すべきは、2022 年に開催された「葛飾北斎展 富士山麓の旅」展です。同美術館史上最高の入場者数となる 70,929 人を記録しました。

- 1950 年代から 60 年代にかけて、サシャ・ソスノ、ベン、イヴ・クライン、アルマンといった前衛芸術家が集結し、ヌーヴォー・レアリズムとコンセプチュアル・アートを融合させたエコール・ド・ニース(ニース派)が誕生しました。コート・ダジュールに深く根付いたこの芸術運動は、日本と韓国での展覧会によって国際的な認知を得ています。

詳細はこちら

<https://cotedazurfrance.fr/a-faire/art-et-culture>

FAMM - ムージャン

美術コレクター、クリスチャン・ルヴェットが設立した「ムージャン古典芸術美術館」は、2024 年に全面改装され「女性を美術史の中心に据える」という独自のコンセプトのもと、ヨーロッパ初の女性芸術家を専門とする「ムージャン女性芸術家美術館 Femmes Artistes Musée Mougins (FAMM)」として生まれ変わりました。

フェスティバルに舞踏会、カーニバル（謝肉祭）に花火…。祝祭のイベントはコート・ダジュールの人びとのDNAに刻み込まれています。これら大規模な文化イベントの多くは屋外ないし、由緒ある場所で開催され、訪れる人びとを特別なひとときにいざないます。

夏の主なイベント

7月

◆ ジャズ・ア・ジュアン Jazz à Juan（アンティーブ・ジュアン＝レーパン）。エラ・フィッツジェラルドからマイルス・デイヴィスまで、1960年の初開催以来、世界のジャズ界の巨匠たちを迎えてきたフェスティバル。

◆ ニース・ジャズ・フェスト Nice Jazz Fest。ニースを舞台に5日間にわたり、ブルース、ソウル、ジャズが華麗に響き渡ります。

8月

◆ ジャズ・ア・ドメルグ Jazz à Domergue。カンヌの緑豊かな邸宅「ヴィラ・ドメルグ Villa Domergue」で開催されるフェスティバル。

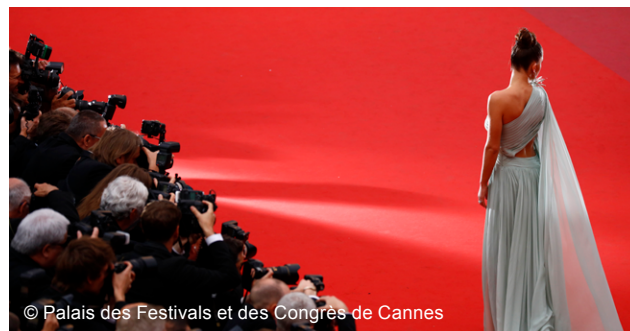
◆ プラージュ・エレクトロニック Plages Électroniques。エレクトロ界の大物たちがカンヌのビーチに集結。街が一大ビーチパーティーの会場に変貌。

◆ マントン・クラシック音楽フェスティバル Festival de Musique de Menton。

◆ 花火フェスティバル Festival d'Art Pyrotechnique。世界各国から集まった一流の花火師たちが、音楽に乗せて華やかさを競い合い、壮大なスペクタクルを繰り広げます。カンヌ、モナコ、アンティーブにて開催。

詳細はこちら：

<https://cotedazurfrance.fr/decouvrir/grands-evenements/>



© Palais des Festivals et des Congrès de Cannes

彩り豊かな冬の祭典

カーニバル、仮装行列、花合戦、山車行列…。コート・ダジュールは、年が明けると、冬の祭典の美しい色彩に染まります。どうぞカレンダーにメモのご用意を。コート・ダジュール最大のイベントをどうぞお見逃しなく！

2月中旬～3月上旬：

◆ ニースのカーニバル Carnaval de Nice – 2026年のテーマ：「王妃万歳」

◆ マントンのレモン祭り Fête du Citron®

◆ マンドリュー・ラ・ナプール Mandelieu-La Napoule のミモザ祭り Fête du Mimosa

◆ カンヌ国際ゲームズ・フェスティバル Festival International des Jeux de Cannes

◆ ビオット・テンブル騎士団祭り Biot et les Templiers

春はレッドカーペッドを上げて

◆ 4月＞カンヌ国際シリーズフェスティバル、通称「カンヌシリーズ」

◆ 5月＞カンヌ国際映画祭

主なスポーツイベント

3月

パリ～ニース Paris-Nice、自転車ロードレース

4月

ロレックス・モンテカルロ・マスタース Tournoi de Monte-Carlo、テニス

5月

モナコ・グランプリ Grand Prix de Monaco、F1レース

6月

アイアンマン・フランス（ニース）、トライアスロン

11月

アルプ・マリティーム・マラソンニース＝カンヌ
Marathon des Alpes-Maritimes Nice-Cannes



© Côte d'Azur France Tourisme / N Dalmasso

理由 06 >> ハイエンドな宿泊施設

海を望むラグジュアリーなホテル、鷹の巣村のチャームなベッド&ブレイクファースト、はたまた一味変わった趣向の宿まで、コート・ダジュールにはあなたにぴったりの宿泊施設が見つかります。そのいくつかをご紹介します。



4つ星、5つ星を獲得した新ホテル

- ◆ ヴィラ・ミラエ by インウッド・ホテル Villa Miré by Inwood Hotels (カップ・ダンティープ)
- ◆ メゾン・アルバルール・ヴィクトリア Maison Albar-Le Victoria (ニース)
- ◆ ダブル・ツリー by ヒルトン Double-Tree by Hilton (ニース中心部)
- ◆ オテル・デュ・クーヴァン Hôtel du Couvent (ニース)
- ◆ アナंतरラ・プラザ Anantara Plaza (ニース)
- ◆ シャトー・ド・テウール Château de Théoule (テウール・シュル・メール)
- ◆ ル・マ・カンディエユ Le Mas Candille (ムージャン)
- ◆ キャンピニー by ヒルトン Canopy by Hilton (カンヌ)
- ◆ ホテル & スパ・ベル・ブラージュ Hôtel & Spa Belle Plage (カンヌ)

鷹の巣村のすてきな宿

- ◆ ラ・シェヴール・ドール La Chèvre d' Or、ル・キャップ・エステル
- ◆ Le Cap Estel、シャトー・エザ・ホテル Château Eza Hôtel (エズ)
- ◆ ラ・バステード・サン・タントワヌ La Bastide Saint-Antoine (グラース)
- ◆ ル・サン・ポール Le Saint-Paul (サン・ポール・ド・ヴァンス)
- ◆ ル・ドメヌ・マス・ド・ピエール
Le Domaine du Mas de Pierre (サン・ポール・ド・ヴァンス)
- ◆ ピュール・モンターニュ・リゾート
Pure Montagne Resort (サン・マルタン・ヴェージュビー Saint-Martin-Vésubie)

伝説的なホテル

- ◆ ラ・レゼルヴ・ド・ボーリユー La Réserve de Beaulieu (ボーリユー・シュル・メール Beaulieu-sur-Mer)
- ◆ ル・ネグレスコ Le Negresco (ニース)
- ◆ オテル・ベル・リーヴとオテル・ジュアナ Hôtel Belles Rives and Hôtel Juana (アンティープ・ジュアン・レ・パン)
- ◆ オテル・マルティネス Hôtel Martinez (カンヌ)
- ◆ インターコンチネンタル・カールトン InterContinental Carlton (カンヌ)
- ◆ オテル・バリエール・ル・マジェスティック Hôtel Barrière Le Majestic (カンヌ)
- ◆ オテル・エルミタージュ・モンテカルロ Hôtel Hermitage Monte-Carlo (モナコ)
- ◆ オテル・ド・パリ・モンテカルロ Hôtel de Paris Monte-Carlo (モナコ)
- ◆ オテル・メトロポール・モンテカルロ Hotel Métropole Monte-Carlo (モナコ)

シティホテル

- ◆ ママ・シェルター Mama Shelter (ニース)
- ◆ ニース・パム Nice Pam Hôtel (ニース)
- ◆ MOB ホテル MOB Hôtel (カンヌ)
- ◆ パレ・セグラヌー・ニース Palais Ségurane Boutique Hôtel (ニース)
- ◆ オテル・アムール Hôtel Amour (ニース)
- ◆ オテル・ウインザー Hôtel Windsor (ニース)
- ◆ ブティック・ホテル・グノー Boutique Hôtel Gounod (ニース)

コート・ダジュールが誇る3軒のパラスホテル

- ◆ グランドテル・デュ・カップ・フェラ Grand-Hôtel du Cap-Ferrat (サン・ジャン・カップ・フェラ Saint-Jean-Cap-Ferrat)
- ◆ オテル・デュ・カップ・エダン・ロック Hotel du Cap-Eden-Roc (アンティープ・ジュアン・レ・パン)
- ◆ シャトー・サン・マルタン & スパ Château Saint-Martin & Spa (ヴァンス)

海を望むホテル

- ◆ オテル・ロワイヤル・リヴィエラ Hôtel Royal Riviera (サン・ジャン・カップ・フェラ)
- ◆ メイボーン・リヴィエラ Maybourne Riviera (ロクブリュヌ・カップ・マルタン Roquebrune-Cap Martin)
- ◆ カップ・ダンティープ・ビーチホテル Cap d' Antibes Beach Hotel (アンティープ)
- ◆ ハイアット・リージェンシー・パレ・ド・ラ・メディテラ Hyatt Regency Palais de la Méditerranée (ニース)
- ◆ 1932 ホテル & スパ・カップ・ダンティープ・M ギャラリー 1932 Hôtel & Spa Cap d' Antibes Mgallery (アンティープ)
- ◆ オテル・モンドリアン Hôtel Mondrian (カンヌ)
- ◆ シャトー・ド・テウール (テウール・シュル・メール)
- ◆ キャンピニー by ヒルトン (カンヌ)

詳細はこちら

<https://cotedazurfrance.fr/sejourner/hebergements/>



© Mondrian - Chambre panoramique mer

メルカントゥール国立公園で深呼吸

南アルプス山脈の最南端、地中海と隣り合うメルカントゥール国立公園 Parc national du Mercantour は、フランス屈指の豊かな生態系を有する自然豊かな一帯です。ニースからわずか1時間の「地中海アルプス」で、新鮮な空気を胸いっぱい吸い込みましょう。湖、峠、峰、溪谷が織りなすメルカントゥールのパノラマの美しさは息を呑むほどです。

スリル満点

冬はスキーやスノーボード、夏はアドベンチャーや高地で持久力が試されるスポーツ。コート・ダジュールの山々は、刺激的なアウトドア・アクティビティに事欠きません。トレイルランニングにツリー・クライミング、ヴィア・フェラータにフランス最長のジップライン、パラグライダーにキャニオニング、ラフティングにケイビング…。さあ 山に冒険に行きませんか？

山の上から空を見上げて

アルプス・アジュール・メルカントゥール星空保護区
Réserve Internationale de Ciel Etoilé Alpes Azur Mercantour
ダークスカイ・インターナショナルにより 2019 年に「星空保護区」に認定されたアルプス・アジュール・メルカントゥール地区。光害の削減と素晴らしい夜空の保護への取り組みが高く評価されています。

新着情報：2025 年秋ヴァルヴェルグにオープン

「環境・観測館 Maison de l'Environnement et de l'Observation」が開館します。大自然と天文学に焦点を当てた空間は、展示ホール、12m の 8K ブラネタリウム、映画館、デジタルルーム、教育を目的とした庭園、「メルカントゥール国立公園会館 Maison du Parc national du Mercantour」を備えています。



© Côte d'Azur France Tourisme/I FABRE

冬のリゾートで滑りに滑る

ビーチからわずか1時間30分の距離に、600kmのゲレンデが広がるアルプ・マリティームのスキーリゾート。記録的な快晴日数にめぐまれるコート・ダジュールでは、アルペンスキー、ノルディックスキー、スノーシューイング、ジップラインなど、お好み次第であらゆるアクティビティを楽しむことができ、山々の景観の素晴らしさ、アフタースキーの観光やゲレンデの外で体験できるアクティビティでも際立っています。アルプ・マリティームの6つのリゾートで、晴れた日には海を眺め、高所からコート・ダジュールの美しさを満喫しましょう。

スノースポーツ愛好家のための主要エリア3選 (12月から3月)

AURON オーロン

家族向けの活気あふれるリゾート

アルプ・マリティーム県最大のスキーエリアであり、家族連れに質の高い対応を提供する証「ファミリー・プリュス Famille Plus」ラベルの認定を受けている「オーロン」。サン・ティエンヌ・ド・ティネ Saint-Étienne-de-Tinée にゴンドラで直結。

ISOLA 2000 イゾラ 2000

フリースタイルスキーを楽しむならここ

才能あふれるスキーヤーが集まる「イゾラ 2000 ISOLA 2000」は、県内でもっとも標高が高い場所に位置し、活気のあるリゾートはフリースタイルスキーの愛好家たちを魅了しています。

VALBERG ヴァルヴェルグ

こだわりのリゾート

ブイユ・レ・ローヌ Beuil-Les-Launes と接するスキーエリア「ヴァルヴェルグ」は、持続可能性への取り組みから「フロコン・ヴェール Flocon Vert (緑の結晶)」ラベル、家族連れへの配慮から「ファミリー・プリュス Famille Plus」ラベルを取得しています。



© Côte d'Azur France Tourisme/I FABRE

耳より情報：フランスアルプスは2030年冬季オリンピックの開催地に選ばれており、オート・サヴォワ Haute-Savoie、サヴォワ Savoie、ブリアンソン Briançon、ニースの各地域でアイススポーツが開催予定です。

山のリゾートでは、冬季以外も、誰もが楽しめるスポーツやアウトドア・アクティビティなどさまざまなサービスを提供。コート・ダジュールでは、一年じゅう山をお楽しみいただけます。

QRコードをスキャン：



理由 08 >> 庭園に出かけよう

海と山のコントラストが美しいコート・ダジュールには、海辺から内陸部の高所まで、地中海を見下ろす場所や美しい山々の頂など、絶好のロケーションに公園や庭園が点在しています。

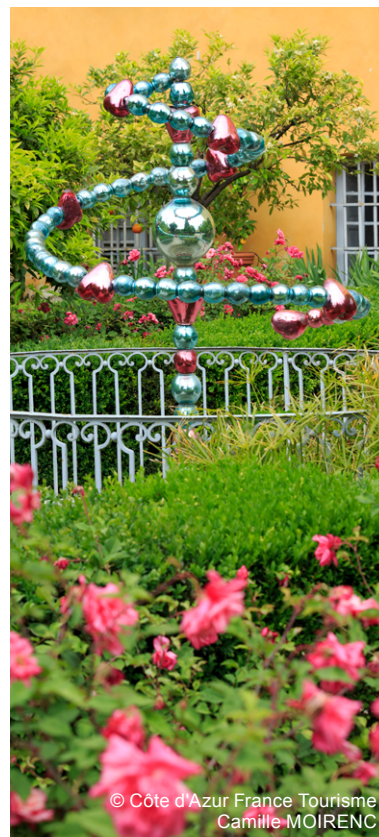


© Côte d'Azur France Tourisme / Camille MOIRENC

希少な植物やエキゾチックな植物の生育や順応に適した気温をもたらすこの地の気候ゆえに、コート・ダジュール地方は優れた植物学者にとって絶好の実験場となっています。個人の邸宅や城、美術館や宗教施設、あるいは歴史を宿すヴィラ（邸宅）を華やかに彩る庭園など、コート・ダジュールでは庭園が、土地の文化や優雅さ、卓越した知識や技術のすべてを体現しています。

アルプ・マリティーム県には一般公開されている庭園が 80 以上あります。これら他に類を見ない自然遺産が、コート・ダジュール地方の魅力と名声を高める重要な要素となっていることはまちがいないでしょう。

QR コードをスキャン：



© Côte d'Azur France Tourisme
Camille MOIRENC

花と緑のイベントカレンダー

2月

- ◆ マンドリュー・ラ・ナプール
Mandelieu-La Napoule: ミモザ祭り
- ◆ ニース: カーニバルと花合戦
- ◆ マントン: レモン祭り Fête du Citron® と蘭展
Salon des Orchidées
- ◆ ヴィルフランシュ・シュル・メール
Villefranche-sur-Mer: 花合戦 Combat Naval Fleuri

3月

- ◆ トゥーレット・シュル・ルー Tourrettes-sur-Loup: すみれ祭り Fête des Violettes

4月

- ◆ ル・バール・シュル・ルー Le Bar-sur-Loup: オレンジ祭り Fête de l'Oranger
- ◆ ファリコン Falicon: カーネーション祭り
Fête de l'Éillet
- ◆ カンヌ: フロール・パッション Flore Passion
- ◆ ヴァロリス: オレンジフラワー祭り Fête de la Fleur d'oranger

5月

- ◆ グラース: バラ展 Expo Rose
- ◆ オプロ Opio: バラ祭り Rose Festival
- ◆ プラスカシエ Plascassier-グラース: 百花祭
Centifolia Festival
- ◆ ラ・コル・シュル・ルー La Colle-sur-Loup: バラの祭典「オートゥール・ド・ラ・ローズ Autour de la Rose」
- ◆ サン・ジャン・カッパ・フェラ: バラと植物の祭典 Fête des roses et des plantes (ヴィラ・エフルッsch・ド・ロスチャイルド Villa Ephrussi de Rothschild)

6月

- ◆ フランス全土: 花と緑のイベント「ランデヴュー・オ・ジャルダン Rendez-vous aux Jardins」
- ◆ マントン: 庭園月間

8月

- ◆ グラース: ジャスミン祭り Fête du jasmin

詳細はこちら：

<https://cotedazurfrance.fr/a-faire/parcs-et-jardins/>



理由 09 >> 旅のお得なパス

コート・ダジュールの旅の必須パス

「コート・ダジュール・フランス・パス PASS CÔTE D'AZUR FRANCE」でコート・ダジュール地方の旅をお思う存分満喫してください。マントンからモノコを経由してサン・ラファエル Saint-Raphaël へ、リヴィエラ海岸からメルカントゥールの山

の頂まで、コート・ダジュール地方の魅力的な 100 以上のアクティビティを追加料金なしでお楽しみいただけます。

パスのご利用で最大 30% の割引が適用され、お得な旅が可能に。パス 1 枚でコート・ダジュール全域を堪能しましょう！



「コート・ダジュール・フランス」コレクション

地域の才能あふれるクリエイターたちが生み出す多様な地元製品を選びすぐりました。2018 年 4 月以降、「コート・ダジュール・フランス」は、ライセンス契約またはパートナーシップに基づいて生産されたこれらの製品のアンバサダーを務めています。フラゴナル社のフレグランス、フロリアン社 Florian のスイーツ、マントンまたはニース産のオリーブオイル、マントン産のレモン製品（リモンチェット・コート・ダジュールなど）など、いずれもお土産やギフトに最適です。

© A. Thiebaut - Agence Thuria



「3 日間で巡るコート・ダジュール」

1 日 目

ニース旧市街

歴史ある街並みが 2021 年にユネスコ世界遺産に登録されたニース。魅力的な小道が織りなす美しい街角、そして、神秘的な海辺の遊歩道プロムナード・デ・ザングレ Promenade des anglais を散策しましょう。

ヴィラ・エフルッシュ・ド・ロスチャイルドとカップ・フェラ

ルネサンス様式の邸宅は、コート・ダジュール屈指の美しさを誇り、丘の上から地中海と周囲の風景の息を呑むようなパノラマビューを堪能できます。



鷹の巣村、ヴィルフランシュ・シュル・メール

コート・ダジュールの海岸沿いに位置する魅力的なヴィルフランシュ・シュル・メールは、絶景を望むことができる、まるで絵のように美しい佇まいの街。手付かずのままの自然が残るヴィルフランシュ湾を見下ろす斜面を階段上に広がる街並みが特徴的です。

2 日 目

カンヌ旧市街とクロワゼット通り

歴史地区ル・シュケ Le Suquet を訪れ、色彩豊かな小路を散策しましょう。小高い丘のてっぺんにはカストル城 Château de la Castre があり、街を一望する素晴らしい景色が広がります。つづいて、高級ブティックが立ち並ぶクロワゼット通りへ繰り出します。エレガントな店先には最新のコレクションが並び、洗練された雰囲気が漂うクロワゼット通りには、カンヌ国際映画祭が開催される会場「パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コングレ Palais des Festivals et des Congrès」があります。

ボートで行くレラン諸島とアンティープ岬

カンヌからボートをレンタルして、サント・マルグリット島 Ile Sainte-Marguerite とサン・トノラ島 Ile Saint-Honorat を訪ねましょう。2 つの島は比類のない魅力の宝庫。修道院やブドウ園、森、遊歩道、さらにはかつての牢獄「フォール・ロワイヤル Fort Royal (王の砦)」も見ることができます。アンティープ岬は、豊かな自然といくつもの小さなビーチが海沿いを縁取り、何十年にもわたり豪華ホテルや著名人のヴィラが立ち並ぶことで知られています。

アンティープ旧市街

15 世紀の城壁に囲まれた、歴史の重みを感じる街アンティープ。その港の桟橋の先端に彫刻があることに気づきになるかもしれません。手がけたのは、カタルーニャ出身の芸術家ジャウメ・ブレナ。この白い大きなモニュメントは、海のパノラマビューとヴォーバンの要塞へとわたしたちの視線をいざなぎます。

ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアン

一日の終わりは、陶芸の街と呼ばれ、パブロ・ピカソが暮らし、創作活動を行ったことでも知られる魅力的な街、ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアンで過ごしましょう。国立ピカソ美術館を訪れ壁画「戦争と平和」を鑑賞したり、陶芸工房を見学したり。ゴルフ・ジュアンの静かな海辺で夕日を眺めるのもおすすめです。

3 日 目

マントン旧市街

色鮮やかなファサードと歴史的な建築物が絵のように美しい景観を織りなす、**活気あふれる旧市街の通り**を散策します。時代を超え街のランドマークとして佇む名高き無数の階段とサン・ミッシェル・アルカンジュ大聖堂 Basilique Saint-Michel-Archange は必見。**フランスとイタリアの影響が融合した**佇まいはマントンならではの特徴です。歩みを進めるほどに、この海辺の街の魅力を存分に感じることができるでしょう。

モナコの代表的スポット

モナコといえばカジノ。必見のスポットです。世界屈指の豪華さを誇るカジノは壮麗な建物の中にあります。カジノの周囲には、高級車が行き交い、レストランやショップが立ち並び、モナコの活気を感じられることでしょう。

モナコ大公宮殿もまた代表的スポット。1297 年以来、モナコ大公の公邸となっています。**公国にいにしえからそびえる岩山「ロシェ・ド・モナコ Rocher de Monaco」**の頂上に位置し、60 メートルの高さから地中海を見下ろしています。

エズ村

息を呑むような地中海のパノラマビューを堪能できるエズ村。曲がりくねった石畳の道には、南仏プロヴァンスの風情が漂います。でこぼことした石垣に囲まれた小さな家々は、まるで時の試練に耐えてきたかのように見えます。小さな道で結ばれた街は、まるで巨大な迷路のようです。多肉植物の見事なコレクションが美しい**熱帯植物園 Jardin Exotique** もどうぞお見逃しなく。



OFFLINE LOVE

オフラインラブ

NETFLIX | 独占配信中



オフライン ラブで 旅するコート・ダジュール

Information

Netflixリアリティシリーズ『オフライン ラブ』

スタジオMC：小泉今日子、令和ロマン

Netflixにて世界独占配信中（全10話 / 一挙配信）

<https://www.netflix.com/オフラインラブ>

#オフラインラブ #OfflineLove

動画配信サービスNetflixが2025年2月に配信を開始した『オフライン ラブ』はニースを舞台にした恋愛リアリティシリーズで、ロケ地となったニースやコート・ダジュール全般への注目度がSNSで急上昇しています。

番組では、日本からニースにやってきた男女10人がデジタルデバイスの使用を封印



された状態で、ガイドブックと自身のインスピレーションを頼りに街歩きや周辺へのエクスカージョンを経験しながら、運命の相手を探すというもの。美しい映像でフランス屈指の絶景を楽しめるだけでなく、気ままな路地裏散策や古着屋巡り、人気スイーツの発掘など、参加者ひとりひとりの趣味の世界も丁寧に掘り下げる



ことで、視聴者はまるで自分が旅しているような気分が味わえます。

Isola2000のスキー体験やプロヴァンス鉄道のエクスカージョンも盛り込まれ、ニース周辺に広がる山側のアクティビティもしっかり教えてくれます。恋愛リアリティシリーズの枠を超え、旅番組として視聴しても楽しいコンテンツです。



SNSで
話題急上昇！



@nnaradin

美容院でオフラインラブの話題になってずっと話してた。ニースが絵になるんだよね



@papico_om

オフラインラブ最高すぎる
一気見した♡
絶対ニース行きたい!!!

主なロケ地

- 📍 ニース 📍 カンヌ
- 📍 プロヴァンス鉄道（アントルヴォーなど）
- 📍 CAP 3000（キャップ・トロワ・ミル）
- 📍 イゾラ 2000 📍 カップ・フェラ灯台
- 📍 サン＝ジャネ 📍 マントン
- 📍 グラース 📍 エズ 📍 モナコ

10
理由

≫旅のプロフェッショナルたち –
どうぞ お気軽にお声がけください

コート・ダジュール・フランス観光局 COTE D'AZUR FRANCE TOURISM BOARD

© Côte d'Azur France Tourisme / Camille MOIRENC

CÔTE d'AZUR
FRANCE
TOURISM BOARD

晴れやかな幸福感を伝える、コート・ダジュールのまばゆく澄み切った光。

ヨーロッパの中心に位置し、ニース・コート・ダジュール国際空港で日本と結ばれたコート・ダジュール。このフランスの、そして地中海の宝石の素晴らしさをみなさまに知っていただくことを願ってやみません。

海と山を望むことができる黄金色に輝くビーチを歩き、コート・ダジュールを代表するニース、カンヌ、モナコといった一年中温暖な都市の魅力に酔いしれる旅のひとつ。絵のように美しい村々を散策し、美味しいフランス料理を味わい、はっとするほど色彩豊かな風景を堪能されてください。一流のホテルや高級ブティックが立ち並び、カンヌ国際映画祭など国際的なイベントも多く催されるコート・ダジュールは、贅沢な休暇を過ごすには理想的なデスティネーションです。一瞬一瞬が忘れられない思い出となるフレンチ・リビエラのエレガンスをぜひ体験されてください。

コート・ダジュール地方 #CotedAzurFrance へようこそ！

www.cotedazurfrance.fr



Claire BEHAR
クレール・ベアール
局長

Tel : +33 (0)4 93 37 79 89
Mail : c.behar@cotedazurfrance.fr



Manuel HARBRETEAU
マヌエル・アブルト
マーケティング・プロモーション担当

Tel : +33 (0)4 93 37 79 87
Mail : m.harbreteau@cotedazurfrance.fr



Florence LECOINTRE
フロロンス・ルコワントル
メディア・リレーションズおよび国際
インフルエンサー・マーケティング担当

Tel : +33 (0)4 93 37 78 99
Mail : f.lecointre@cotedazurfrance.fr

アルプ・マリティーム県

LE DÉPARTEMENT DES ALPES-MARITIMES



観光事業への積極的な取り組み

アルプ・マリティーム県は、「コート・ダジュール・フランス」への多額の財政支援に加え、独自の政策を通じて経済と観光の発展に対し大きく貢献しています。

第一に、県は「グリーンディール GREEN Deal」を通じて、環境保護とソフトモビリティの促進に積極的に取り組み、環境に配慮した観光を押し進めしていることが挙げられます。テウル沖の海洋公園をはじめとする県内に 20 ある自然公園は、いずれも休暇中の逗留や散策に最適な地となっています。

県はまた、サイクリングロードやカーシェアリング・エリアを増やし、道路渋滞を減らすことによって、汚染の少ない移動手段を奨励。約 1,300km に及ぶハイキングコースの継続的な維持管理と定期的な拡張、そして北部や内陸部のグルメルートの開発もまた、アルプ・マリティーム県をより魅力的な観光地とすることに寄与しているといえます。

第二に、県民にデジタル技術と AI の活用を適応させるべく 2018 年から企画された「スマートディール SMART Deal」を通じ、県は観光の提案の拡大にも務めています。2022 年以来、毎

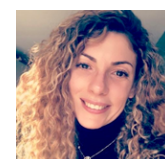
年世界中から 200 以上の出展者と 15,000 人の来場者を集めている「世界 AI カンヌ・フェスティバル World AI Cannes Festival (WAICF)」はその一例です。さらに最近では、映画と人工知能を結びつける「世界 AI 映画祭 World AI Film Festival (WAIFF)」が、昨年 4 月にニースで開催され、クロード・ルルーシュ監督が実行委員長を務めました。

アルプ・マリティーム県はまた、大規模な文化イベントによって、毎年多くの来場者を動員しています。マティスやピカソといったあまたの偉大な芸術家にインスピレーションを与えてきたこの地域は、ニースのアジア美術館を含む県立博物館群の存在により、県議会が文化的なダイナミズムを維持しています。日本の建築家丹下健三によって設計され、1998 年にオープンしたこの美術館は、中国、日本、インド、東南アジアからの貴重な美術品を展示し、毎年特別な展覧会を開催しています。県はまた、県全域の誰もが自由に文化に親しめるよう、年間を通じ複数の注目すべきイベントを開催。夏季、村々に活気をもたらす「夏の夕べ Soirées estivales」、秋季、誰もが楽しめるクラシック音楽フェスティバル「セ・パ・クラシック C pas classique」などです。

アルプ・マリティーム県は、水泳やそのほかのウォータースポーツのみならず、多種多様なスポーツが楽しめるスポーツマン

の楽園であることも忘れてはなりません。「ツール・ド・フランス」が、例年、域内を通過しているほか、毎年 2 万人近いランナーが参加するマラソン大会「アルプ・マリティーム・ニース・カンヌ」、自転車ロードレース「メルカントゥール・クラシック Mercan'Tour Classic Alpes Maritimes」、トライアスロン選手権「ウルトラトレイル・デュ・メルカントゥール Ultra-trail du Mercantour」など、スポーツ愛好家が同県を訪れ、同県が主催または後援するイベントに参加する理由は多数あります。またこれら競技者向けのイベントの実施のみならず、壮大な景色の中で誰もが自分のペースで力試しに挑むことができる約 30 の自転車ルートと、道標が設置された 7 つの峠の整備にも取り組んでいます。

海と山に挟まれた変化に富む景観、自然の宝庫を保護するための環境への絶え間ない配慮、そして驚くほど豊かな文化やスポーツの提供など、他に類を見ないこの地域であるアルプ・マリティーム県は、自然に寄り添い、自然を尊重する多様で質の高い観光を奨励するため、県ができることのすべてに全力を注いでおります。



Hanna KISRANE
アンナ・キスラン
アルプ・マリティーム県 - 政策局
知事室長

Mail : hkisirane@departement06.fr

アンティープ・ジュアン＝レ＝パン観光会議局

ANTIBES JUAN-LES-PINS TOURISM & CONVENTION BUREAU



© Côte d'Azur France Tourisme / Camille MOIRENC



**ANTIBES
JUAN
LES PINS**
CÔTE D'AZUR - FRANCE

アンティープ・ジュアン＝レ＝パンは、コート・ダジュールの中心部、アルプスを背景に海と山に挟まれた風光明媚な場所に位置し、25kmを地中海沿岸に接しています。

ニース・コート・ダジュール国際空港から20kmの距離にあるアンティープ・ジュアン・レ＝パンには2つの駅があり、ニース - アンティープ間を15分、パリ - アンティープ間を約5時間30分で結ぶ直通列車が運行されています。

アンティープ旧市街の通りには花が咲き誇り、色とりどりの家々や古代の建築物が人びとの目を楽しませてくれます。歴史的建造物、博物館、プロヴァンスの市場、カフェ、レストランが、フレンドリーで風情ある佇まいを醸しています。街のおすすめは以下の通り。

グリマルディ Château Grimaldi のアンティープ・ピカソ美術館 Musée Picasso d'Antibes

「恋人たち」シリーズでお馴染みのペイネ美術館 Musée Peynet

個性的なブティックや工芸品など他にはないショッピングお楽しみください

アンティープ旧市街の通りには花が咲き誇り、色とりどりの家々や古代の建築物が人びとの目を楽しませてくれます。歴史的建造物、博物館、プロヴァンスの市場、カフェ、レストランが、フレンドリーで風情ある佇まいを醸しています。街のおすすめは以下の通り。

- グリマルディ Château Grimaldi のアンティープ・ピカソ美術館 Musée Picasso d'Antibes
- 「恋人たち」シリーズでお馴染みのペイネ美術館 Musée Peynet
- 個性的なブティックや工芸品など他にはないショッピング

ジュアン・レ＝パンはコート・ダジュールの伝説的な海辺のリゾートであり、多くの芸術家、

作家、音楽家に愛される街はジャズ・フェスティバルでその名を特に知られています。

街の魅力的な場所は以下の通り。

- 長い砂浜
- 建築
- 2,500人を収容できるコンベンションセンター

アンティープ岬は数多くのヴィラ、庭園、緑地に彩られた瀟洒なエリアです。代表的なスポットは以下の通り。

- エイレンロック邸宅 Villa Eilenroc
- テューレ庭園 Jardin Thuret
- 海沿いの散策ルート Sentier du Littoral

アンティープ・ジュアン＝レ＝パンでは、一年を通してさまざまな文化イベントやスポーツイベントが開催されます。

新着情報 2025:

ラ・ヴィラ・サント・ヴァレリー (4つ星)

ここは緑あふれる安らぎの楽園。ブティックホテルのラ・ヴィラ・グループに加わったラ・ヴィラ・サント・ヴァレリー La Villa Sainte Valérie は魅力的なホテルです。全面改装を経て今年3月リニューアルオープン。

ヴィラ・ミラエ (5つ星)

2025年春オープン、インウッド・ホテルズ・グループに名を連ねるヴィラ・ミラエ Villa Miraé 5*. 35室 (スイート8室)。ルレ・エ・シャトー 加盟。世界最高峰のシェフと賞賛されるマウロ・コラグレコによるレストランメニュー。よるレストランメニュー。

ル・プロヴァンサル

1927年のコート・ダジュールに築かれたアールデコ様式の名ホテル、ル・プロヴァンサル Le Provençal が、41部屋からなる高級アパートメントホテルに生まれ変わります。手がけるのは、イギリスのデベロPPER、コードウェル Caudwell。宿泊客以外も利用することができるレストランやショップも新設されることが決まっています。2025年オープン予定。



Lucy HOWARD
リュシー・ホワード

アンティープ・ジュアン＝レ＝パン観光会議局

メディア・リレーションズ担当補佐

Mail: lucy.howard@antibesjuanlespins.com

カンヌ観光局

CANNES VISITORS BUREAU



カンヌの街は、その多彩な顔であなたを驚かせます！

1 | 国際映画祭で知られる象徴的な街であるカンヌ。歴史的なファサードが立ち並ぶ海を望む遊歩道である壮大なクロワゼット通り、美しい砂浜、ショッピングなど、多くの楽しみがあります。

2 | なによりも本物の風格を宿す街、カンヌ。ここは古い漁村の魂を守り続ける街であり、魅力的なル・シュケの旧市街、地元の農産物であふれるフォルヴィル市場、かわいらしい歩行者天国を歩けばきっとその魅力を肌で感じていただけることでしょう。

3 | カンヌは自然と文化の宝庫。レラン諸島のサント・マルグリット島には、保護された森、アレクサンドル・デュマの『鉄仮面』の男が投獄されていたフォール・ロワイヤルがあり、サン・トノラ島には、ブドウ畑に囲まれた修道院があります。

4 | ワールド・トラベル・アワード World Travel Awards で「フェスティバルとイベントにおける世界最高のデスティネーション」に選ばれたカンヌは、常に心躍る催しがいっぱい！ 工芸品や文化体験も一年中楽しむことができます。

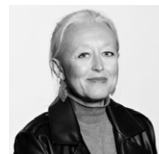
5 | 2025 年の新情報。アートセンター「ラ・マルメゾン」のリニューアルオープン。フォルヴィル市場の改装講師。カンヌ港（旧港）の近代化工事。

6 | カンヌは持続可能な開発への取り組みを積極的に行っており、複数のプロジェクトが進行中です。そのひとつ、水中に沈めた彫像をによって海底を保全、開発することを目的とした、サント・マルグリット島沖の海中エコミュージアムは一見の価値あり。



Charlotte CEJUDO
シャルロット・セジュド
パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コングレ
国際レジャー・レクリエーション事業部長

Tel : +33 (0)4 92 99 31 20
Mob : +33 (0)6 13 64 63 50
Mail : cejudo@palaisdesfestivals.com



Blandine DUGENETAY
ブランディーヌ・デュジェヌテ
カンヌ観光局
プレス担当

Mail : dugenetay@palaisdesfestivals.com

ニース・コート・ダジュール観光会議局

NICE CÔTE D'AZUR CONVENTION AND VISITORS BUREAU



© Nice Côte d'Azur Metropolitan Convention and Visitors Bureau



コート・ダジュールの中心都市であるニースは、2021年、「リヴィエラの冬季保養都市」としてユネスコの世界遺産に登録されました。またこの地域の美しい光は、ニースではマティスやシャガール、カーニュ・シュル・メールではルノワールといった偉大な芸術家たちにインスピレーションを与えてきました。建築においては、ベル・エポック期のシャトーや邸宅、ネオ・クラシック様式のファサード、バロック様式の教会や礼拝堂など「奇抜」なものが数多く残されています。

ニースがユネスコの世界遺産に登録されたことを受け、その価値を際立たせるものとして、わたしたちは「ニース歴史的ホテル Nice Hôtel Historique」ラベルを作成しました。これは、1760年から1940年の間に既に存在した宿泊施設を特定するものです。このラベルの付いた9軒の宿泊施設は当時のニースの面影を伝え、お客様にリヴィエラの冬のリゾート体験を提供します。

海と山のはざまに広がるニース・コート・ダジュールは、非常に優れた微気候に恵まれた唯一無二のデスティネーションであり、海岸線の美しさ、美味しいニッサルド料理、アール・ド・ヴィール、文化や歴史の遺産、鷹の巣村、ニース市内からわずか1時間の山岳リゾートなどがよく知られています。

燦々と太陽が降り注ぎ、そのラグジュアリーなムードが人びとの旅心をひきつけてやまないニース・コート・ダジュールには、14の高級ホテルのほか、ミシュランの星付きレストラン、こだわりのサービスを提供するプロたちがおり、みなさまに比類がなく格調高い、そして秘密厳守の旅の体験をご提供いたします。

新着情報

- 2025年6月、120の国の首長と2万人の代表者が一堂に会する国連海洋会議がニースで開催されます。
- 海と海洋をテーマにしたショー、ワークショップ、展示会のプログラムが目白押し。
- ニース港に新たな会議センターのオープン
- ニースのカーニヴァルの日程決定。2026年2月11日から3月1日。テーマは「女王万歳！」
- 2030年開催の冬季オリンピック。すべての氷上競技の会場はニース。



Catherine ANOUILH

カトリーヌ・アヌーユ

ニース・コート・ダジュール観光会議局
副局長 兼 広報・マーケティング部長

Tel : +33 (0)6 38 67 15 57

Mail : catherine.anoilh@nicecotedazurtourisme.com



ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアン観光局

VALLAURIS GOLFE-JUAN TOURIST OFFICE

© Côte d'Azur France Tourisme / Loïc Lagarde



ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアンは、歴史、職人技、そして豊かな生活がハーモニーを奏でるコート・ダジュール地方の魅力的な観光地です。

ラベル「街と工芸」を獲得しているヴァロリスは、陶芸の伝統とパブロ・ピカソにゆかりがあることでよく知られています。一方、地中海に面したゴルフ＝ジュアンは、かの有名な「ナポレオン街道 Route Napoléon」の出発点です。エルバ島と脱出したナポレオンは1815年にこの地に至り、パリに帰還し帝政を復活させますが、皇帝に返り咲いたのも束の間、わずか3か月余りで退位に追い込まれたことは「百日天下」としてよく知られています。

1948年、ヴァロリスの陶芸家の卓越した技術に魅了されたパブロ・ピカソは、この地に移住し、「マドゥーラ Madoura」工房で陶芸に専心します。ピカソの名声とその驚くべき作品は陶芸の復興に大きく貢献し、当時の陶芸創作の頂点を極めていたヴァロリスの名を世界中の人びとに知らしめました。

ヴァロリスの街の至るところで、ピカソの残した遺産に出会うことができます。広場に置かれたブロンズ像「羊を抱く男 l'Homme au Mouton」、国立ピカソ美術館で鑑賞できる記念碑的な壁画作品「戦争と平和」、陶器、リノカット版画、写真などのコレクションは、この街を拠点としたピカソの精力的な芸術活動を物語るものです。

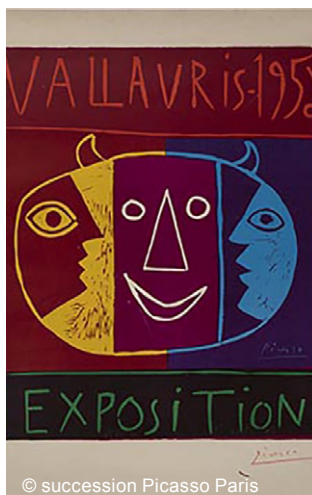
2025年の新着情報

- ・「ピカソ×ピカソ：複数芸術」展、2025年7月5日から9月29日開催

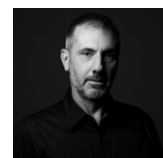
陶芸美術館である「マニエリ美術館 Musée Magnelli」では、「ピカソ、そのポスター Picasso, ses affiches」と「ピカソの陶芸、マルティプルズの技法 Picasso céramiques, les techniques du multiple」という2つの相補的な展覧会により、ピカソとマルティプルアート（複数芸術）のユニークな関係に迫ります。

- ・「日本」展、7月1日から9月30日開催

「サル・アリアス・ピカソ Salle Arias Picasso」にて、ヴァロリスの芸術家や職人による日本をテーマにした独自の作品を展示。



© succession Picasso Paris



Philippe MOTTIER
フィリップ・モティエ

ヴァロリス・ゴルフ＝ジュアン観光局
局長、マネージャー

Tel: +33 (0)4 93 63 18 38
Mail: pmottier@gj@orange.fr

Côte d'Azur France Tourism Board コート・ダジュール・フランス観光局

455, Promenade des Anglais
Bâtiment Horizon - CS 53126
06203 NICE Cedex 3
Tel: 33 (0)4 93 37 78 78

お問合せ

局長

Claire BEHAR – c.bear@cotedazurfrance.fr

マーケティング・プロモーション担当

Manuel HARBRETEAU – m.harbreteau@cotedazurfrance.fr

メディア・リレーションズおよび国際インフルエンサー・マーケティング担当

Florence LECOINTRE – f.lecointre@cotedazurfrance.fr

www.cotedazurfrance.fr/en

[@visitcotedazur](https://twitter.com/visitcotedazur)

[#CotedAzurFrance](https://twitter.com/CotedAzurFrance)



DÉPARTEMENT
DES ALPES-MARITIMES

